父親達が積極的に学校教育に参加する「おやじの会」の設立にあたり、具体的にどんな活動、そして成果があったのでしょうか？
パネラーの皆さんの意見を聞いてみたいと思います。

おやじ！学校へ行こう！
子ども達と触れ合おう！それが地域の共育力となる！

父親の立場から

尾道市立栗原小学校育友会会長
宇根本　茂氏

佐伯区おやじの会連合会会長
橋本　英樹氏

地域の立場から

新市地区地域まるごと連絡協議会副会長
高橋　哲夫氏

学校の立場から

東広島市立小谷小学校校長
太田　美鈴氏

おやじの会の目的は？

宇根本氏

おやじが学校に来れば、みんなの父親になれる！

子ども達の学校環境を考えてゆくには、男性の目と女性の目の両方が必要だと思いました。

そこで、お父さんが気軽に学校に来て、子ども達みんなのお父さんになれば、子ども達の環境にも良いのではと思います。そこから地域全体で子どもを共育する環境が作られるのではないでしょうか。

橋本氏

父親が学校に集まるきっかけ作り

父親は仕事をしていて、子どものことを母親だけに任せていいのだろうかと感じ、お父さんの集まるきっかけ作りとして設立しました。我が子のためや、奥さんのためにおやじの会に入るのではなく、自分のために他の子も自分の子だという感覚で、地域のおじさんとして行うことが重要だと思います。

なぜ、地域の人が学校へ行くの？

高橋氏

子どもの教育力再生には地域の力

当時学校は非常に荒れており、教育力も低下していた時期でした。そこで、地域として何ができるか色々な勉強会をやってゆく中で、「学校の中に地域の拠点を置く」という考え方に出会ったことが始まりでした。

学校と地域の連携は？

太田氏

地域の繋がりが希薄になりつつあった

地域の繋がりは、学校・地域が連携して子ども達を共育してゆく上でも重要なことですが、小谷小学校区は14、5年前から大きな団地ができて、地元の人よりも団地の人が多くなり、地域同士の繋がりの希薄化が心配されていました。

おやじの会はどう作るの？

宇根本氏

身近なところに仲間がいます

“おやじくらぶ”に入っていただける人は、ごく身近にいます。例えば、子ども達にスポーツを教えているお父さん方は子ども思いで、情熱があり使命感を持っています。

おやじ同士で飲み会などを開き、話し合いで色々な方の意見を聞くことで仲間意識を高め楽しくやっています。

橋本氏

小さな芽が、やがて大きくなる

おやじの会を設立するにあたり、まず学校を通しておやじの会の参加者を募集しました。みんな仕事をしているので、出られるときに出るようして、気軽に参加できるようにしています。

2、3年やっていると町内会など地域の方からも、認めてもらえるようになり軌道に乗りました。ですから、まず小規模でもいいので継続して行ってゆくことが重要です。

高橋氏

学校内に地域のコミュニティーを作る

私たちは、小学校の空き教室を自主管理、自主運営で借りて、お年寄りの集いや勉強会に使ったりして、子どもと地域の人々が声を掛け合えることで、地域と子ども達のコミュニケーションのとれる場を作りました。

大人が変われば子どもも変わる！

宇根本氏

子ども達が地域の大人たちとのコミュニケーションが取れるようになった

子どもたちが私たちの活動を、ハートや肌で感じてくれるということは重要な変化ではないかと思います。色々な事で相乗効果があると思います。

橋本氏

地域の人たちが、子ども達に声をかけやすくなった

子どもが大きくなってからも、子どもの方から声をかけてきて冗談なども言い合ったりします。

高橋氏

子ども達が地域の役割を知ることができた

子ども達の地域に対する認識が深まったようで、地域と子ども達の素晴らしい関係が築かれています。

太田氏

元気な大人を見て、子ども達も元気になった

地域行事、また学校行事の活性化を通して子ども達が大変喜び、元気になっているように感じています。

活動内容とは？

おやじの会設立に向けて

当日は、お忙しい中多くの方にご参加頂き、誠にありがとう御座いました。

「おやじの会」を設立した効果は、お父さんが学校に足を運ぶことにより今の教育の現状を知らせ、自分たちの子どもの為に何かをしてやりたいと感じさせる気づきを与えているように思えます。ぜひこのシンポジウムを機会に「おやじの会」を設立し、共育の場に参加していただければ幸いです。

（社）三原青年会議所は、私たちの三原市に一つでも多くの「おやじの会」が設立できるようサポートして参ります。そのサポートの一つとして、「地域の子どもは地域の子じゃけぇハンドブック」を製作し配布させていただきます。内容は「おやじの会」の活動事例や地域の人々による子ども育成事例などを掲載しておりますので、ご希望の方は（社）三原青年会議所事務局までご連絡下さい。

これからも、（社）三原青年会議所では三原市の為に地域の共育力が充実した社会実現のために活動して参ります。今後とも皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

参加者のみなさんの感想

近所づきあいなど人との関係が薄くなりつつある中、保護者同士の横の繋がりは非常に大切であると感じました。（母親）

色々な活動に積極的になれるお父さんが増えるといいなぁとしみじみ思いました。（教師）

「おやじの会」ができれば、学校地域の関係も随分と変わるのではないかと思った。（父親）

今、離婚が相当多いため、実際に「お父さん」「おやじ」という立場を知らない子どもが増えています。地域まるごとで地域の子どもを育成するという発想が素晴らしいと思います。（地域）

母親としては、夫にも子育てにもっと参加して欲しいと思っているので、おやじを巻き込む「おやじの会」ムーブメントが私の学校でも起これば良いなと思っています。（母親）

父親たちが引っ張ってくれる環境ができれば良いと思います。（教師）

挨拶のできない子どもがたくさんいる。一人一人が心がければ自然と声が帰ってくるので、地域の声が大切だ。（地域）

理論ではなく、義理・恩・人情の繋がりの大切さを、おやじの会によって表現できていると思います。（父親）

「おやじの会」の取り組みは、非常に共感をすると共に、この様な会が我が地域でも立ち上がると良いと思います。（地域）

やっさもっさ伝言板

三原テレビを見られなくても、
「やっさもっさチャンネル」を見ることの出来る
「やっさもっさ」ホームページをご覧ください!!

プレゼント付アンケート募集
「韓国料理 ソウル屋」のお食事券をプレゼント!!

抽選結果は、ホームページ上で発表しています。

「やっさもっさチャンネル」ホームページで絶賛放映中！

詳しくは「やっさもっさ」ホームページまで
http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm

やっさもっさチャンネル（三原テレビ放送）
今月の放送予定日

	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
8:30	○	○	○	○	○	○	
9:30			○	○	○	○	
12:30			○	○	○	○	
18:30		○	○	○	○		
20:30	○	○	○	○	○	○	○
22:30		○	○	○	○		
24:30						○	○

すべての投稿・申し込みは下記にて受け付けています。

（社）三原青年会議所
〒723-0052 三原市皆実4-8-1 三原商工会議所内
TEL:63-3515／FAX:62-1141
●Eメール　info@mihara-jc.com
●HP　http://mihara-jc.com
「やっさもっさ」ホームページ
http://www.mihara-jc.com/y-mossa.htm

携帯の方は、こちらからお問い合わせ下さい▲

本誌〝やっさもっさ〟は、（社）三原青年会議所の自主財源とここに掲載の企業のご協力を得て発行しています。

エスイグ洋組一プ　芸備燃料　市内4S・S　整陽日産　三原カンツリークラブ　三原給食センター　三和　(有)あかり幼稚園　(株)みどり商会　(株)みどり書店　(株)ミー化粧品店　(有)松野商会　(株)マックスバリュ本郷店　(医)杏仁会 松尾内科病院　松尾労務事務所　(株)ファミリー歯科診療所　(株)藤井建設　(株)富久屋　(株)藤井建設　(株)富士金属フランジ工業　(株)吉岡製作所　(株)由水酒販　(株)よしなが　(株)吉井ビジアート　(株)吉村工業　(株)読書法書士事務所　(株)夜船司法書士事務所　(株)ライム&ソルト　(株)ライフスタイル&ラ・マンチャ　(株)リアルサポート　(株)六文銭　(株)ゆうひえんグループ　(株)ラベルワイフ　(株)ルーデザイナー　(株)ロゴパック　(株)ワンダーランド　(株)ワンダーランド　(株)ワンダーランド